

講師・委員会等

【講師・監修】

- アレルギーの学び舎@木津川（りんごちゃんみるくちゃん）
7/9 2015年度 出張学び舎 事前打合せ
12/5 第1回「食物アレルギーの基礎（臨床と治療）」開催監修
※食物アレルギー支援プラットフォーム見学（京都府）
12/17 防災講座事前打合せ
2/9 第2回「災害時の備え（ポリ袋クッキング）」開催監修
※食物アレルギー支援プラットフォーム視察（京都府）
3/8 第3回「レシピ紹介と栄養のお話」開催監修
※食物アレルギー支援プラットフォーム視察（京都府）
- アレルギーの学び舎@舞鶴（まちづくりサポートクラブ）
8/3 2015年度 出張学び舎 事前打合せ
9/29 第1回「レシピ紹介と栄養のお話（米粉）」開催監修
10/20 第2回「レシピ紹介と栄養のお話（カルシウム）」開催監修
※食物アレルギー支援プラットフォーム視察（京都府）
11/17 防災講座事前打合せ
11/29 第3回「アレルギーっ子の防災・ポリ袋クッキング」開催監修
※食物アレルギー支援プラットフォーム見学（京都府）
2/3 2015年度学び舎振り返り
- 京都市東山区ユニバーサルデザイン（京都産業大学松高ゼミ）
4/27 食物アレルギー対応メニュー試食会（浅川亭にて）
5/21 「にっこり東山」冊子監修・イベント打合せ
7/9 第3回おもてなし学校 監修・講師
- 京都市中京子ども支援センター
11/20 中京区子育て支援者交流会・研修会（パネラー・ワーク進行）
12/17 ベビースサポート広場講師「心配しないで食物アレルギー」
- その他自治体・学校等
7/27 同志社大学社会福祉学部社会福祉学科 3回生ゼミ
9/10 花背小中学校研修会（8/19 事前打合せ）
10/23 京都府府民力推進委員研修（テーマ：プラットフォーム）
- 京阪グループ
9/8,28,10/7,11/9,12/14,1/17
マニュアル作成・職員研修打合せ
2/12,3/1,3,4（京都タワーホテル）
職員研修講師「食物アレルギー対応とリスク管理」
3/10,11（琵琶湖ホテル（滋賀））
職員研修講師「食物アレルギー対応とリスク管理」
3/14,15（ホテルユニバーサル（大阪））
職員研修講師「食物アレルギー対応とリスク管理」
- その他企業・団体等
4/23 順正・おかべ屋 「食物アレルギーへのリスク管理」
7/13（一社）食物アレルギー対応サポートデスク設立記念セミナー
8/27 京滋奈 BMC 納涼会「食物アレルギーの基礎とリスク管理」
2/27 より豊かな学校給食をめざす会
第1分科会「学校給食の充実と食育」パネラー

【委員会】

- 山城南地域子育て支援関係者連絡協議会
5/19,7/28,10/6,11/18,1/25
山城南地域子育て支援関係者連絡協議会
11/29 山城南子育てフェスタ開催（食物アレルギー講座・相談）
- 京都市市民活動総合センター運営委員会
6/18,10/5,3/4 運営委員会
- 京都府おこしやすプロジェクト委員会
10/14 第1回プロジェクト委員会（※第2回目は欠席）

【出展】

- 看護フェスタ（（公社）京都府看護協会主催）
5/9 食物アレルギー相談ブース担当
- ふれあいらんど（伏見区地域子育てステーション事業）
6/9,7/7,11/16 ふれあいらんど実行委員
6/26,11/27 ふれあいらんど開催 相談コーナー担当

【商品開発・モニタリング】

- 京都産業大学
9/17 学生食堂 アレルギー対応キャンペーン試食
（10/5～9 学生食堂 アレルギー対応キャンペーン実施）
- 石井食品㈱
4/5,9/25,3/5 新商品（ランチBOX）開発モニタリング
10/27 本社コミュニティハウス音楽会
- 榎濱田・QOL トラベル
4/17,5/13 新商品開発事前打合せ
6/27,12/3 新商品モニタリング

【行政関係】

- 食物アレルギー支援プラットフォーム（京都府）
6/4 2015年度 事前打合せ（子育て政策課）
7/21 プラットフォーム 会議事前打合せ
7/22,3/22 プラットフォーム会議
- 京都府職員 NPO 短期研修
9/17 事前打合せ
10/18,11/6,11/12 京都府職員インターン受け入れ
- その他
8/3 災害復興支援 NPO リレーションズ（京都府）ワーキング会議
9/10 岩倉北学区 事業打合せ（京都市文化市民局）
10/15 京都府教育委員会懇談（2016年度学校マニュアル作成）

【その他】

- 4/2 αステーション ハッピーNPO 出演（4/5 放送）
- 4/10 イオン五条 イエローシート贈呈式
- 5/8 オムロン㈱ オムロンティーでの活動紹介と作業への協力

～ オムロンボランティアティ ～

オムロン㈱さんでは、創立記念日を社員全員で社会貢献を目的にボランティアを行う「ボランティアティ」とされています。今年は、5月8日がその日で、京都市市民活動総合センターを通じて当法人に活動紹介の機会と日常活動へのご協力のお時間をいただきました。

「食物アレルギーをご存知でしょうか？」と、活動紹介の冒頭にお尋ねすると全員の方が既に「知っている」という状況でした。これは、10年前に私たちが活動を始めた頃と比べると驚くべきことです。けれども、「何故私たちが支援活動を行うのか」につながる「アレルギーの子どもの子育て環境の困難さ、保護者の心労」の理解までは至っていません。そこで、

- ・食事の制限は日常生活の制限にもつながること。それは、食事が単に「食べる」ということだけでなく、コミュニケーションツールであり、日常の生活であるから
- ・治療の基本が症状の出る食材を除いた食事であり、配慮食材は高額ではあるが、医療・療育への補助がないこと

・園や学校からの緊急時における待機依頼や、治療・検査に時間を費やすため、母親の職場復帰が厳しいことなど、福祉行政の狭間であることを説明させていただきました。その後は、実話をもとにした食物アレルギーの子どもたちの本音と笑顔がたくさんつまったライドショーをご覧いただきました。活動へのご協力は、

- ①毎月発送しているニュースレターの発送作業 ②絵本棚の作成 ③「ボタン付け」おもちゃ作成

の作業をしていただきました。皆さん、腕まくりをしながら一生懸命作成くださいました。作業中も、各テーブルで更に詳しいお話をする機会もあり、皆さんに熱心に関心を寄せていただきました。社員の方の中には「うちの子が」「友達が」と身近に食物アレルギーの子どもの保護者の方もおられました。この日が「点」として1日だけに終わるのではなく、社員皆さんの職場やお住まいの地域での理解や対応に繋がるきっかけとなる様にと願っています。ニュースレターはその日のうちに発送し、おもちゃや本棚はサポートデスク・つどいの広場で使用しています。

